

次代の“あたりまえ”な 働き方研究所 make.f

多彩な仕事内容ややりがい、
プレゼンで見えてきたもの。

企業アンバサダーは、若手から10年以上の社員、複数の職業や企業を経験した転職組など幅広い面々が集った。プレゼンテーションは1人10分の持ち時間で、これまでのキャリアや現在の仕事内容、プライベートとのバランス、今後の目標などについて自由に発表した。

メンバーたちが取り組んでいる仕事は多種多様で、年間10回以上海外へ出張し英語で商談するメーカー社員、世界的に注目されるバイオマスエネルギーや医療部品の開発・普及に携わる人、北陸3県でトップシェアを誇る建材商社の経営者ら、福井にいながらグローバルなスケールでビジネスに取り組んでいるケースも少なくなかった。また、クラウドシステムを使って在宅で業務をこなす人、資格取得や身近な先輩に追いつくことを日々の目標としている人など、それぞれ意欲とやりがいをもって仕事に臨む現状が発表された。

現在の会社を選んだ理由には「会社説明会での担当者の第一印象が良かった」など、働いている社員の人柄を決め手とした意見がいくつかあった。新分野へ進出するという情報を聞きつけ、社員募集をしていないのに自ら売り込んで採用されたり、面接で落ちたことに納得いかず再度猛アピールした結果、グループ会社へ就職が決まった人も。幼少期から続けてきたスポーツを活かせる職場を選んだ人もいた。

県外や海外で数年間働いた後に、Uターンしたメンバーが少なからずいて、「東京では、周囲と合わせるまま朝から晩まで働き過ぎて、仕事と私生活のバランスを崩した」という声も。また「戻ってみて福井の自然や人の良さが付いた」「ある年代に達し子どもができる」と、福井は暮らしやすく、働きやすいという人も多く、自分の趣味や家族と一緒に過ごす時間を楽しんだり、地域行事に積極的に参加するなど、自らの裁量次第

で、東京では、周囲と合わせるまま朝から晩まで働き過ぎて、仕事と私生活のバランスを崩した」という声も。また「戻ってみて福井の自然や人の良さが付いた」「ある年代に達し子どもができる」と、福井は暮らしやすく、働きやすいという人も多く、自分の趣味や家族と一緒に過ごす時間を楽しんだり、地域行事に積極的に参加するなど、自らの裁量次第

「快適ライフ」「意外にグローバル」「チャンスいっぱい」・・・、それが福井。



福井市内に本社のある企業10社から選抜された企業アンバサダー10人が、福井市中央1丁目のワーキングスペース「sankaku（サンカク）」に集った。
福井における多様性のある働き方について、活発に意見交換し合ったほか、異業種間の交流も進んだ。

で、仕事とプライベートのバランスをうまくとれることを、福井で働くことの大きな利点の一つとして挙げている。

福井ならではの働き方とは グループワークで深掘り。

続くグループワークでは、2チームに分かれ、福井で暮らす魅力や、働くメリットなどについてさらに深掘りした。

福井の暮らしに関しては、土地の値段をはじめとする物価が安いこと、さまざまな生活指標や教育レベルが全国的に上位にあること、祖父母との同居世帯が多く育児を助けてもらえる点などがメリットとして挙げられ、「結婚や育児、マイホーム購入などのライフステージを迎えた人にとっては、都市部に比べて格段に生活しやすい」という点があらためて強調された。一方、ネットによって都市との情報格差はなくなったが、街なか遊びや文化を楽しめるスポットなどが少ない点がデメリットとされた。

福井には、多彩な技術を持つ中小企業が多くあることから、「規模が小さい会社では、社員の役割が細分化されず一人何役もこなす必要がある」という意見があった。さらに、「ビジネスの市場として福井県だけでは規模が小さく、それが逆に販路拡大を求めて県外や海外を目指すモチベーションとなっている点に注目。意外にグローバルな視点での仕事が多く、「チャレンジ精神がある人」としては、多くのチャンスが溢れている」という指摘があった。また、人と人とのつながりが仕事面でも重要視されることから、「ビジネスというより、商い」と呼ぶほうがしっくりくるような人間的な働き方ができる環境が整っている」との意見には、賛同の声が多かった。

これらの意見を共有する中で、福井の暮らしには都会にはない魅力があり、生き生きと働いている人たちがたくさんいることがあらためて見えてきた。



次代の“あたりまえ”な 働き方研究所

活動中

福井市内の10社から、20～30代の男女10人の企業アンバサダー10人を選抜し、多様性のある働き方を考えるプログラム。福井で暮らし、働くことの魅力を県内外に発信します。



永和システムマネジメント
ITサービスマネジメント
中本 美歩さん

広島、東京などを渡り歩き昨年Uターン。システム開発に携わる傍ら、社員親睦会の会長を務める。



米五
営業販売部
濱田 真紀さん

みそソムリエの資格を持ち、店舗運営や接客を担当。販売イベントの企画・運営にも携わる。



ジャパンポリマーク
営業部 係長
山本 和紀さん

営業の管理職兼プレイヤー。タイやベトナムの縫製工場への指導など、県外海外出張も多い。



タッセイ
代表取締役副社長
田中 陽介さん

東京で俳優をしていた異色の経歴。Uターン後、祖父、父と共に3世代で会社を運営する。



日華化学
管理部門人事部長 主任
今井 貴史さん

東京で長らく働いた後、昨年Uターンし現在の会社に入社。採用業務を通じて、ファン化活動実施中。



新田塚コミュニティ
スポーツインストラクター
小宮山 浩代さん

フレッシュな入社4年目。スポーツ経験を活かし、スポーツインストラクターとして活躍中。



福井銀行
経営企画Gチャネル戦略PT 企画役
伊部 浩章さん

東京でのシンクタンク勤務などを経て5年前にUターン。「フィンテック」戦略などに従事。



福井県民生活協同組合
子育て支援 担当
中島 菜穂さん

配達業務などを経て、働きながら保育士資格を取得。現在は子育て支援業務を担当する。



福井経編興業
経営管理部総務課 専務秘書
小川 陽子さん

着付けやマナー講師を経て入社。秘書業務と並行し、医療関連新部門の立ち上げ拡大に携わる。



マルツ電波
新エネルギーPT 主任
大城 謙治さん

大阪出身。海外勤務などを経て、バイオマス事業を担当したくて、現在の会社に入社。

東京で福井の魅力発信へ。

10月29日に東京・恵比寿で開かれる「地域仕掛け人市」（NPO法人ETIC主催）に、企業アンバサダー7人が参加。福井で働くことの魅力をアピールし、各社の重要ミッションと一緒に取り組む地域志向の強い熱く若い人材を探し求めに行きます。県外の希望者には福井への企業訪問ツアーを企画し、その企業や福井の魅力をさらに深掘りしてもらいます。